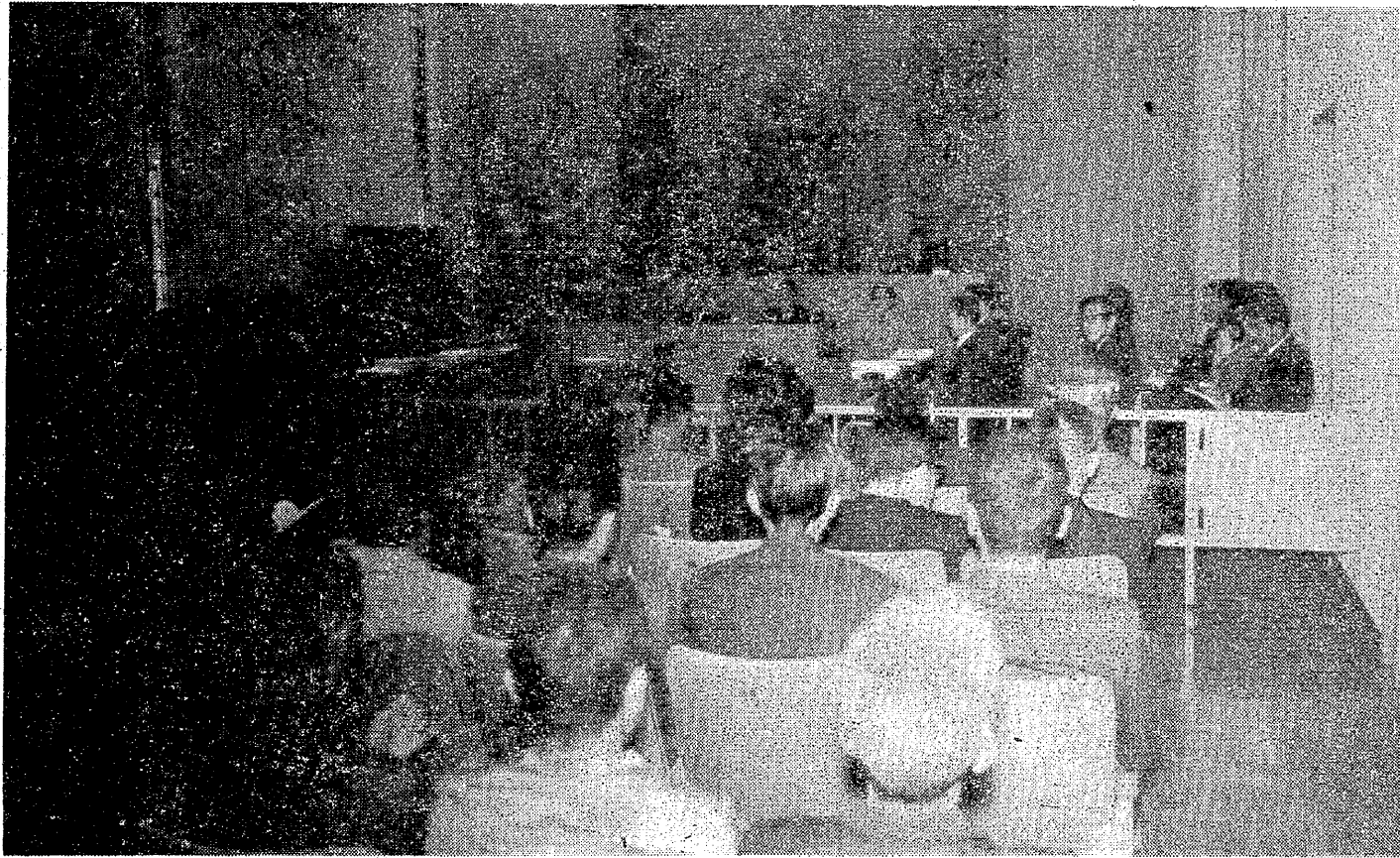




発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市不知火町2  
電話 ③3033番  
③3034番  
編集兼人 山下 開  
発行人  
半年間600円 送料共



組合側が、会社側を圧倒した。三池大爆発裁判。第一回公判。なすべき答  
弁もせず、裁判長から「公判日はわかっていたが」とたしなめられたほど  
だった。「資料が東京にあるので」と、ただひと口とは。



三池大災害10周年抗議集会。会場の市民会館ホールは、労働者の新たな怒りにたぎった。バツクに掲げられた重症のCO患者一宮島重信さんの大写真が、決起を呼びかけていた。この重大犯罪が、どうして許されよう。

## 生活防衛に立とう

### 怒りの物価メーデー 250万人

去る十一日三池労組は、福岡と代表を派遣、参加した。荒尾で開催された物価メーデーに 春闘共同委員会が主催した「生活防衛国民総決起」統一行動の一

つたが、この日、全国約「百だ」との記事のなかで述べている。会場で集会、労働者や市民の「百五十万人が怒りをこめて参加した」と伝えられている。

このとき四山指導部第七分会の新聞「抗外」NO.七十は、「モウがまんできない。二十万円(炭)すしほられている。カチちゃんの労働の期末手当要求は絶対必要。やりくりも限度がきている」

# 11・9 新たな怒り、許すな資本

## 大爆発裁判闘い抜く

### 三池の怒りに時効はない

#### 10周年抗議集会

も)炭労、福岡・熊本両地評、大牟田・荒尾の両地評、社共両政党代表らが結集、今年から裁判闘争も加えられた「反独占、反合理化命を守るCO闘争」を、最後の勝利まで闘うことを固く誓い合った。

「労働者は資本家に、労働力こそ売っているが生命までも売ってはいない。ところが三池では、その命が奪われ続けている。必ずから大爆発裁判が具体的にすすべり出すが、命を守る闘いは人間としてきりぎりす闘いだ。この際決意を新たに団結しよう。」

「今日日本列島そのものを札束で買い占めてしまおうとしている支配層、あの災害をひき起こした三井資本を、無罪にした権力と、三池を包んでの連帯にもとずく闘いもまた弱く。」

「過去の十年は、わが国の天皇制が復活してきたことで、自民党支配の正体が、すっかりさらけ出された時期である。」

「十たび目の「一・九三池大爆発」の目を、怒りの二十四時間闘争ストライキのなかで迎えた三池労組は、総評・炭労・三池主婦会と手をこぎり、「この十日の第一回公判でいよいよスタートする。三池大災害裁判」を、たとえ何年かかろうと、最後の勝利を手にするまで、統一と団結で闘い抜く」(組合長のあひま)覚悟を固めた。

「私たちは今、刑事上の不起訴処分を乗り越え、民事訴訟をもって災害責任の追及に立ち上がった。三池の怒りに、時効はない。災害責任を必ず明らかにし、労働者の命の尊厳を思い知らせなければならぬ。」

#### 大法廷と化した抗議集会

「十周年抗議集会」を頂点とする今年の三池労組の統一行動は、その前後の、記念講演会(にはじまり、中日に抗議集会、そしてはからずも十日に開廷を見た「三池大爆発裁判」第一回公判闘争と経過して終った。

抗議集会ではとくに、大爆発で夫を奪われた中西かすき(アソニート勤務)と、父をまきとらされた坂口恵子ちゃん(小学六年、十二才)が手記を朗読、全参加者の怒りを呼び起こした。

#### 「お嫁にはゆかぬ」 遺児・恵子ちゃん訴える

「お母さんは会社勤め。学校参観に、だれもきてくれないのが、一國各地からかけつけてきた労働者。番書しい。みんな楽しく話していても、お父さんたちの話になると、

なかでも、抗議集会は、資本を弾劾する法廷を思わせたが、三池の労働者をはじめ、その家族に全

「お母さんにはゆかぬ」